

実際に体験!

運転中に危険を感じたシルバー世代の声



コインパーキングで料金精算をしているときは、姿勢を変えるため、ブレーキから足が離れやすくなっていました。体が硬くなつたことも実感しましたね。



駐車場などでペダルを頻繁に踏み換えているとき、運転を急いだり、慌てたりしていました。家族から指摘され、ようやく踏み間違いの危険性に気づきました。

Aさん（男性 / 65歳）

Bさん（女性 / 70歳）

ご自身の運転も、この機会に見直してみましょう。

アクセルとブレーキの「踏み間違い」の危険性に関する啓発動画は
JA共済の地域貢献活動 HP「ちいきのきずな」からご覧いただけます。



“アクセルとブレーキの踏み間違い”を防ぐためのポイントや
対処法などを映像でわかりやすく紹介しています。また、“高速
道路の逆走”的な危険性”の啓発動画やパンフレットもご覧いただけます。

ちいきのきずな

検索



https://social.ja-kyosai.or.jp/contribution/silver_news/

あなたとみんなの「これから」を守るために。
今日も1日、安全運転でお過ごしください。

制作：JA共済

監修：一般財団法人日本交通安全教育普及協会

※この資料は、自賠責共済運用益事業として制作しています。

アクセルとブレーキの 「踏み間違い」の危険性

「わたしは大丈夫」

と思い込んでいませんか？

体力も判断力も
まだまだ大丈夫

まさか自分が
踏み間違いなんて



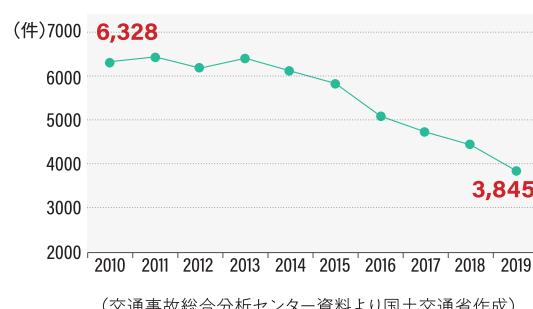
危ない運転を
しているつもりはない

ご存知ですか？

年間3800件余り起きる踏み間違い事故

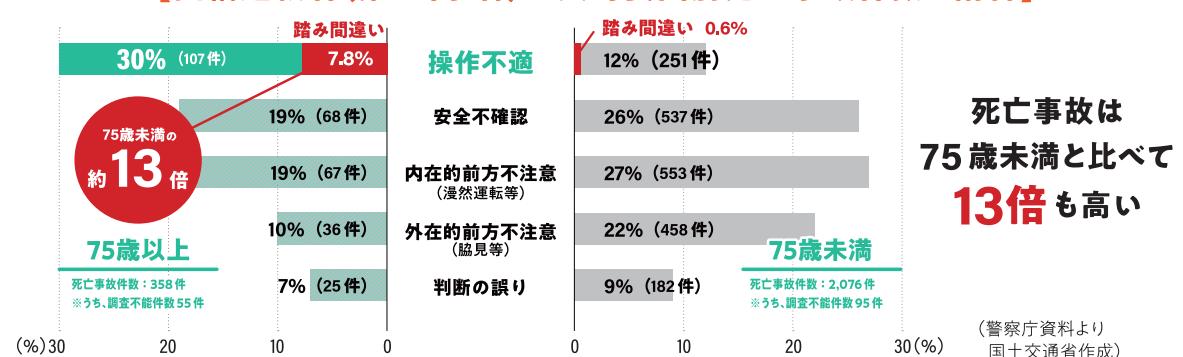
【ペダル踏み間違いによる事故件数の推移】

※第1当事者が四輪(特殊車、ミニカーを除く)運転者の事故を計上したもの



全国で毎日10件ほど発生

【四輪運転者(第1当事者)の人的要因別死亡事故件数と割合】



死亡事故は
75歳未満と比べて
13倍も高い

ここが危険！

踏み間違いが起きやすいケース

CASE 1 駐車場などの低速移動時



脇見運転に
なりやすく、
急に飛び出す
歩行者・車に
慌てるため。

CASE 2 駐車中の車体の位置調整時



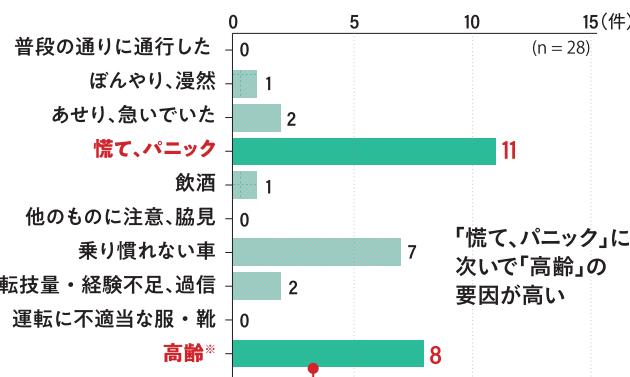
ハンドル・
ペダル操作、
前進・後退を
頻繁に
繰り返すため。

なぜ起こる？

加齢による「さまざまな影響」が関係

【ペダル踏み間違い事故を 起こしたドライバーの人的要因】

(全年齢対象)



判断力や身体能力の低下等、
加齢による影響が運転の支障に！

(「イタルダイインフォメーション交通事故分析レポートNo.124」より)

【高齢ドライバーの着座姿勢と ペダル操作に関する調査】



ブレーキペダルを踏んだつもりが、
アクセルペダルを踏んでいる可能性も。

防ぐポイントは？

「身に覚えがある」と思ったら再確認！

危険を予測して 運転に集中

頻繁にペダル・ハンドル操作
を繰り返す駐車場などは慌て
やすいので注意が必要です。
安全確認を徹底し、落ち着いた
運転操作を心がけましょう。



無理のない 正しい姿勢で運転

加齢による身体機能の衰えは、
操作ミスにつながる恐れがあり
ます。運転操作に無理が出ない
よう、自分の体格に合うシート
ポジションを再確認しましょう。



安全運転 サポートカーの検討

踏み間違い防止をサポートして
くれるさまざまな機能がついた、
安全運転サポートカー（サポ
カー）の活用も検討しましょう。



出典：経済産業省ウェブサイト
(https://www.safety-support-car.go.jp/technology/)